NEWS RELEASE

報道関係者各位

令和8年（2026年）11月20日

学校法人近畿大学

株式会社ジェイ・エス・ビー

学生マンションの共用部を、交流が生まれる場所に
経営学部生が産学連携で粘土ワークショップを開催

近畿大学経営学部（大阪府東大阪市）松本ゼミと株式会社ジェイ・エス・ビーは、学生マンションの共用部を活用した交流ワークショップ「つくって、あそんで、つながろう。～粘土でつくる、家族のキャラ弁～」を、令和8年（2026年）11月28日（土）に開催します。本企画では、入居者が粘土で家族をイメージしたキャラクターや食べ物などを制作し、お弁当箱に詰める体験を通じて、入居者同士の自然な会話やつながりが生まれることを目指します。



粘土のお弁当の試作品



イベント会場の現地視察

【本件のポイント】

● 近畿大学松本ゼミと株式会社ジェイ・エス・ビーが連携し、学生マンションの共用部を活用した交流ワークショップを開催

- 粘土で「家族のキャラ弁」を制作。ものづくりをきっかけに、入居者同士の自然な会話を促す
- 共用部を、単に通過・利用する場所から、人と出会い一緒に何かをつくる場所へと活用する取り組み

【本件の内容】

近畿大学経営学部の松本誠一ゼミでは、企業などと連携し、学生の視点を生かした企画提案や価値共創に取り組んでいます。今回の空間プロジェクトでは、株式会社ジェイ・エス・ビーと連携し、学生マンションの共用部の活用方法について検討してきました。同じ建物に多くの学生が暮らしていても、日常生活の中で入居者同士が継続的に交流する機会は限られています。そこで、共用部を人と人が出会い、何かを一緒につくる場所として活用することを目指し、第一弾として今回のワークショップを企画しました。

ワークショップのテーマは「つくって、あそんで、つながろう。～粘土でつくる、家族のキャラ弁～」です。参加者は粘土を使い、家族をイメージしたキャラクターや食べ物などを自由に制作し、お弁当箱に詰めて作品を完成させます。上手につくることや交流そのものを目的にするのではなく、まずはものづくりを楽しむことを大切にしています。

粘土は完成形に正解がなく、自由に形を変えられるため、完成度を競うことなく制作のプロセスを楽しめます。また、作品を見せ合うことで「何をつくっているの？」「かわいいね」といった会話が自然に生まれることが期待されます。親との思い出として身近な「お弁当」を題材にすることで、家族との思い出を振り返るきっかけにもつなげます。完成した作品はお弁当箱に詰めたまま持ち帰り、自宅で乾燥させます。イベント当日だけでなく、作品を家族に見せることを通じて、その後の会話が生まれることも目指しています。

本ワークショップを通じて、学生マンションの共用部における新たな過ごし方を提案するとともに、日常の中で自然な交流が生まれる場づくりを目指します。

【開催概要】

日　　時：令和8年（2026年）11月28日（土）13：00～15：00
場　　所：エスリードカレッジゲート長瀬 食堂
　　（大阪府東大阪市小若江１丁目２－５、近鉄大阪線「長瀬駅」から徒歩約３分）
対　　象：学生マンション入居者　20名程度（定員に達し次第、受付終了）
参 加 費：無料（筆記用具持参）
申込方法：チラシに掲載されているQRコードから専用フォームにアクセスしご予約いただけます。
お問合せ：UniLife長瀬近大前店　TEL：0120-334-058

【株式会社ジェイ・エス・ビー】

所 在 地：京都府京都市下京区因幡堂町655番地
代 表 者：代表取締役社長　森　高広
創　　業：昭和51年（1976年）12月
事業内容：学生会館・学生寮・学生専用マンションの企画開発、運営管理
従業員数：1,254名（2025年10月31日現在）

資　本　金：43億1558万5850円（2026年7月31日現在）

ホームページ：https://www.jsb.co.jp

【参加学生のコメント】

経営学部経営学科4年　**山本菜陽**（やまもと　なひな）さん

今回の企画では、交流することを最初から目的にするのではなく、まずは粘土でものをつくる楽しさをきっかけに、自然と会話が生まれる場をつくりたいと考えました。同じマンションに住んでいても、普段は話す機会が少ない人同士が、作品を見せ合ったり、家族の思い出を話したりすることで、新しいつながりが生まれたらうれしいです。今回のワークショップを通じて、共用部の新しい可能性を感じてもらい、日常の中で人と人がつながるきっかけになればと思います。